

京都・城陽の企業を応援する情報誌「城陽カンパニー」

令和5年 春号



感動と笑顔を届ける。
モノは「人」がつくり、



城陽が、 変わる。

「こりこり」という擬音語から、何をイメージしますか。固いものを削る様子や、力強く進む様子などを想像する方がほとんどではないでしょうか。しかし、私たちは、「わがまち城陽」のことを真っ先に思い浮かべます。鉄道も高速道路もなかったその昔、京都と奈良の都を結ぶ奈良街道がありました。京都から五里、奈良から五里と双方の真ん中に位置した城陽は「五里五里の里」と呼ばれるようになりました。そんな交通の要衝が、悠久の時を経て、今まさに大きく変わろうとしています。耳を澄ませば聞こえてきませんか。城陽が変わる「こりこり」という音が。

城陽市を含む京都府南部地域には、京都と滋賀を結ぶ「京滋バイパス」、京都と大阪を結ぶ「第二京阪道路」、京都と奈良を結ぶ「京奈和自動車道」の高速道路網が整備されています。平成29年4月には新名神高速道路「城陽八幡京田辺間」が開通し、令和6年度には新名神高速道路「大津城陽間」の開通及び（仮称）城陽スマートICの供用が予定されています。

また、これにあわせて、府内初となるプレミアム・アウトレットの開業や、国道24号城陽井手木津川バイパスの整備などが進められています。

さらには東部丘陵地青谷先行整備地区では、日本初となる高速道路ICに直結した専用ランプウェイが接続する基幹物流施設を中心とする「次世代型物流拠点」の開発計画が発表されるなど、関西圏の一大物流拠点として整備が進められています。

これからの城陽市は「ヒト」、「モノ」、「情報」、「サービス」などが行きかうハブ都市となり、大交通の時代を迎えます。同じエリアに立地した企業同士のネットワークや、市全体の企業間連携を深めるネットワーク組織の形成が進み、あらゆる方面から人が集まり、城陽市の存在感が高まっています。

今号も、城陽市の技術を担う「技能功労者」と「優秀技能者」をご紹介するとともに、城陽市を牽引していく元気な企業を知っていただくため、城陽の発展を支える様々な企業の魅力をお伝えしていきます。

新名神開通 大津～城陽間

●京都市役所[約35分] ●学研都市精華・西木津地区[約25分]
●奈良市役所[約35分] ●大阪市役所[約45分]
●京都舞鶴港[約95分]

令和6年度

神戸
まで
約65分

名古屋
まで
約100分

プレミアム・
アウトレット
開業

次世代型
物流拠点
竣工

新名神高速
道路開通に
合わせて
東部丘陵地
長池地区

竣工予定
令和8年
東部丘陵地
青谷地区

名古屋市役所
125km(約100分)

名古屋港
113km(約70分)

中部国際空港
148km(約100分)

奈良市役所
27km(約35分)

浄瑠璃寺
29km(約40分)

一休寺
8km(約20分)

学研都市(精華・西木津地区)
17km(約25分)

JR京都駅
まで
約22分

JR奈良線 複線化

●JR京都～JR城陽間

令和5年3月

京都・城陽の企業を応援する情報誌
城陽カンパニー [令和5年春号]

ジョーカン CONTENTS

- 2 城陽が、変わる。
- 4 城陽市技能功労者・優秀技能者表彰
- 8 株式会社 アスク
- 9 株式会社 エムエスティ
- 10 株式会社 熊谷運輸
- 11 株式会社 コバヤシ関西工場
- 12 JA全農京都 宇治茶流通センター
- 13 株式会社 城南工建
- 14 豊味食品 株式会社
- 15 株式会社 都給食
- 16 市長挨拶・優遇制度

〔発行〕 城陽市まちづくり活性部 商工観光課

☎ 0774-56-4018

〔編集〕 城陽商工会議所

☎ 0774-52-6866

〔制作協力〕 ココロ株式会社



平成6年から開始した技能功労者表彰は、城陽市内において、永く同一の職業に従事し、優れた技能を持つ方の功労をたたえることにより、技能水準の向上と技能尊重の機運を高めることを目的に、特に優れた技能を持つ30年以上の実務経験を有する、60歳以上の方々を称える制度です。

29年目となる今回は、2名が表彰され、城陽市技能功労者は累計150名となりました。

スペシャリスト
として活躍する
技能功労者表彰

令和4年度技能功労者を紹介

「金銀糸製造加工職」 戸山秀樹さん



金銀糸の原材料であるアルミ蒸着加工済みのポリエステルフィルムに、両面着色をする工程において熟練の腕を持つておられます。

「柔道整復師」 安本成男さん



永年にわたり柔道整復業務を通じ、城陽市民が身近で安心安全な施術が受けられるように常に柔道整復の学と術の研鑽に努め、そのための環境整備を行っておられます。

溶剤で薄めた塗料に、様々な染料で色を出していきます。各染料を微量に調合しないと指定された色は出せません。また、染料の段階で指定された色を出せたとしても、同じ色を何メートルも作成する間に、溶剤が蒸発し、色が濃くなつていきます。それを、タイミングを見て溶剤を入れ、色の調節を行っておられます。フィルムの表と裏はもとより、最初から最後まで同じ色が出せない、色の差がはつきりと出てしまいます。その日の気温、湿度によって微調整を行える者でしかできない作業を担っておられます。

手術をしない「非観血的療法」によって、整復・固定を行い、後療法、電療法、電法、運動療法をもって人間の持つ治癒能力を最大限に發揮させ治癒に導く施術を行っておられます。39年間で延べ40万人以上の患者さんを施術し地域のスポーツイベントには救護班として応急手当を行い、市民の健康増進に寄与いただいています。

これまで延べ10人以上の勤務柔道整復師を雇用し、骨折・脱臼の徒手整復・固定・後療の確かな知識と技術を継承されています。

優れた若い技能を顕彰する優秀技能者表彰



城陽市長 奥田敏晴

技能功労者・優秀技能者の皆さまと対話したことで、多くの技術がこの城陽市でも生かされていることを知り、大変勉強になりました。これからの城陽市を考えると、技能功労者・優秀技能者の皆さまの力というのは非常に重要です。この表彰を一つの誇りとして、皆さまにはさらにご活躍いただきたいと考えています。

今後とも、皆さまの力をお借りしながら、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

野で活躍され、今後の産業を担う6名が表彰されました。

これからも、城陽市技能功労者・優秀技能者表彰により、一人一人の技能者の意欲を高め、市の産業全体がより良く、活力あふれるものになることを目指していきます。

次のページでは、表彰された皆さまの声をお伝えします。

令和3年度から、優秀技能者表彰を新設し、今年で2回目の表彰。様々な職種から、6名の優秀技能者が表彰されました。



令和4年度
城陽市技能功労者
優秀技能者を表彰

令和4年度の城陽市技能功労者・優秀技能者に対し、令和4年11月28日（月）に表彰式を行いました。技能功労者は2名、優秀技能者は6名が表彰され、表彰式には技能功労者1名、優秀技能者6名のに出席していただきました。



令和4年度 城陽市優秀技能者

※五十音順に掲載しています。

型枠工

亀岡 聡さん
有限会社石井工務店



地元高校を卒業後、家業である型枠大工を継ぐと、父親と一緒に仕事をするようになりました。修行を重ねて一級型枠技能士を取得し、城陽警察署など、数々の建物の建設現場を担当しています。最近では、海外の技能実習生の技術指導に力を入れており、彼らが母国に帰った後、型枠工として活躍できるよう、日々指導しています。

民生用電気機械
器具組立工

浦川 康雄さん
株式会社山岡製作所



入社時から様々な部門に携わってき、現在は電気設計に関わっています。主に最終ユーザーの電装関係、配線関係の作業に携わっています。作業中、設置場所などの条件が変わり予定通りいかないことも多々ありますが、お客様第一として、特級技能士の技術と経験を駆使して対応しています。

石工

伊保 忠史さん
株式会社伊保石匠社



学生時代から父親のもとで仕事を手伝い、技術を学んでいました。職人同士はなかなか自身の技術を教えあうことがなく、学ぶためには目で見て盗むようなやり方でした。どこまで仕上げたら完成なのかという部分についてはまだ見えておらず、一生の仕事として考えています。

金属工作機械工

西川 幸成さん
株式会社山岡製作所



私が働いている部署では金属プレス金型を作っています。温度による金属の変化が起きないよう、24時間365日ずっと22℃という環境で、1ミクロンから5ミクロンの高精度な加工をしています。特級技能士の資格を持ち、府の技能検定の検定員としてもお手伝いをしています。

菓子製造工

中川 憲一さん
有限会社松屋



当社は、長池宿場町の旅籠として始まり、明治の終わりに今の和菓子屋としてスタートしました。110年ほど続いており、私で4代目になります。我々の業界は、「美味しくないものがない」というのが当たり前の時代。その中で私たちの技術で付加価値をつけるというのが、大事だと考えています。

造園工

十川 裕さん
十川造園



高校生のときから、父親の仕事の手伝いをし、お礼を言われて嬉しかったことが仕事を継ぐきっかけとなりました。父親は職人らしい性格で、あれこれ教えてくれるような感じではありませんでしたが、ともに仕事をしていくうちに、お客様には喜んでいただけるようになりました。今後も技術を磨いて、次の世代に受け継いでいきたいと考えています。

令和4年度 城陽市技能功労者

※五十音順に掲載しています。

柔道整復師
安本 成男さん



鍼灸の資格を取るために四国の専門学校に行き、その後、当時は全国に14校しかない柔道整復師の学校へ通うため、仙台に行きました。

患者さんへの負担を少なくするために、患者さんに「何かあったらすぐ来てもいいよ」と声掛けをして安心してもらい、状態を見極め、先に医者に行った方がよいのか、その場で整復するのかの判断をしています。治しているのは患者さん自身の自然治癒力。それのお手伝いをするだけと思っています。

金銀糸製造加工職
戸山 秀樹さん



私は2代目で、2023年で40周年を迎えます。はじめは事務所での販売からはじめましたが、徐々に機械を揃え、製造業として会社が変わっていききました。

20年ほど前に、撚糸とマイクロスリッターをやめて、コーティング色付けと張り合わせだけでやっていこうとなり、今に至ります。"新しいものを作りたい"というお客様からの提案をいただき、何度も失敗をしながら、創意工夫を重ね、お客様の満足いくものを作る、そういった仕事を日々させていただいております。



城陽市
今西 伸雄 副市長
これからの城陽市は東部丘陵地を中心に、新しい施設等がで、まちのイメージも変化していきます。皆さまにもそのような機会を活かしてご活躍いただきたいと考えています。



山城広域振興局農林商工部
農工商連携・推進課
岩松 義秀 参事
技能というのは個人の特性にあわせて経験で築き上げたもの。その高い能力を生かし、城陽から世界へ、技術を伝承してもらえればと思います。



城陽商工会議所
岩見 悦明 会頭
お客様に喜んでいただくというスタンスで仕事に臨まれ、長年勤めあげられたというのを感じさせていただきました。技術力の高い会社が地元城陽にあるというのは本当に誇らしいことだと思います。



城陽市議会
谷 直樹 議長
若い方は机の上でパソコンに向かって仕事をするという働き方が多く、技術を若者に伝えていくというのはなかなか難しいと思いますが、皆様のこの素晴らしい技能を伝承していけたらよいと思います。

来賓・関係者



株式会社 アスク



①月に3000t以上の処理能力を誇る第3工場 ②③ブルドーザーで搬入口に投下された資源ごみは、ベルトコンベアで高度選別機、手選別室などへ運ばれて、選別される
④⑤冷暖房・空調の完備した室内で多くのスタッフにより最後の選別とチェックが行われている ⑥非鉄金属ごとに仕分けられ、リサイクル会社へと納品される

金属加工メーカーが手掛ける国内循環リサイクル事業 ミックスメタルの選別で、地球規模の 環境保全と障がい者の雇用を創出する

試作部品、少ロット多品種のパーツを完全オーダーメイド・短納期で製造することで知られる「株式会社アスク」。

国内で排出される銅・アルミ・ステンレス・真ちゅう・電線・基盤・亜鉛や異物が混在したミックスメタルは、そのほとんどが人件費の安い海外に輸出される。不十分な方法や設備で処理を行うことで環境汚染や作業員の健康被害が拡大することを知った同社が、電線や銅のリサイクル事業に次いで、ミックスメタルの選別事業を開始。令和4年2月、京都山城白坂テクノパークに同社の第3工場を開設した。

高度選別機で非鉄金属を分ける

大型トラックで運びこまれた大量の廃棄物は、アルミ缶、スチール缶、プラスチック容器、鉄、ビニール、木材と様々なものが混ざっていた。とある行政が回収した資源ごみと聞いて驚きを隠せない。高周波磁界の電磁で鉄、蛍光X線で形や色を識別してアルミ、銅、真鍮などに選別していく。これらの高性能な選別機でも、完全に異物を取り除くことはできない。

手選別で障がい者らが活躍する

選別機を通った資源ごみはベルトコンベアで「手選別室」に運びこまれ、スタッフの皆さんが検品作業を行う。形状や色で分かるそうで、作業に

慣れてくると異物は簡単に見つかるようになるとか。室内は冷暖房が完備され、季節を問わずに作業に集中できる環境が整えられている。

地元の福祉施設と協働し、障がい者の正社員採用も行っている。単純な作業を集中して行うことが得意な方が多いそうで、検品作業ではとても活躍されている。同社は、障がい者の自立支援・雇用創出のモデルケース実現に向けて取り組まれている。

高品質の選別で国内資源を生かす

「アスクは、非鉄金属ごとにきれいに選別してくれる」と国内のリサイクル会社の評価も高く、産業ごみやミックスメタルの処分を任せたいと、企業や自治体からの新たな取引も順調に増えているそうだ。

「タバコの吸い殻が入ったビールのアルミ缶もきれいに選別します。きちんと選別しないとリサイクルできないため、私たちが仕事をすることで資源が生かされると思っています」と同社リサイクル事業本部長の長倉純平さん。

アスクで選別されたアルミは、自動車の部品、窓枠サッシ、アルミ缶などに生まれ変わるそうで、限られた資源が正しく再利用されている。家庭ごみや企業ごみなど、私たちがごみを出す前にできることをきちんと行えば、今以上に資源が再利用されると同社を見学させてもらって、強く感じた。



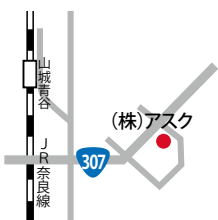
ある自治体の資源ごみ。プラやビニールが混ざる

泥だらけで搬入されたものも、キレイに選別される

ここまできれいに選別されたアルミ



株式会社アスク
[創業] 平成元年10月
[従業員数] 55名
[資本金] 9,900万円
[事業内容]
金属・樹脂の試作部品加工、
多品種少量部品加工、電線・
銅・ミックスメタル選別事業
[本社]
枚方市津田山手2丁目18番1号
[第3工場]
城陽市市辺白坂77番地
TEL 0774-66-2501



株式会社 エムエスティ



①ショールームのプリンタを説明する坂本代表 ②食品、医薬品などのパッケージの印字に使われる ③⑦機械設計・回路設計・ソフト設計が一貫して行われる技術部門
④⑤納品前の操作・動作の確認 ⑥社内でパーツごとに製作され、組み立ても自社で行われている

食品メーカーの工場の製造ラインで、食品が封入されたビニール袋やパッケージに、原材料名や栄養成分表示などを直接プリントする産業用プリンタの企画・製造・販売・メンテナンスを行う「株式会社エムエスティ」。近年では、病院で患者の手首に付けるタグ、採血した血液を入れる採血管などへの情報表示にも使われ、大切な情報を伝える現場で重要な役割を担っている。

平成11年、前身の会社のプリンタ事業を引き継いで、消耗品の転写リボンなどを販売する会社を設立。ところが、メンテナンスやプリンタ購入の要望が多く、行く先々で「あなたたちのプリンタが必要なんだ。ぜひ続けてほしい」と熱望され、プリンタメーカー株式会社エムエスティとして創業した。

産業用プリンタで知られる存在

熱転写プリンタのMS13220シリーズは、1¹/₂幅に12個の発熱体があるサーマルヘッドを用いて、微細な文字や絵図もクリアにプリントできる。熱転写リボンで印字するサーマルプリンタ、ヘッドが動くインクジェットプリンタなど、産業用プリンタメーカーではエムエスティの信用と実績は高く、業界初や世界初のような仕組みを開発している。

UVLEDランプを採用した照射器でUVインクを硬化させるインク

業界初や業界唯一の技術で海外市場も目指す
食品や医療現場で重要な情報を、正しく
見やすく印字する産業用プリンタメーカー

ジェットプリンタを開発したときには、大手電機メーカーから、当時、世の中ほとんどなかった「照射器を製造してほしい」との依頼が入った。しかし、設備投資や人材育成などかかるコストや規模が身の丈に合わないといえ断ったとか。

「皆で共に喜び、共に苦しみ、物心両面の幸せを追求する。利益や儲けではなく、社員一人ひとりの幸せを最初に考えて事業を行うのが弊社の経営方針です」と語る代表取締役の坂本礼朗氏。これまでに順調に売上を伸ばしてきたのも納得である。

他にないプリンタの活躍の場を

同社には独自開発のプリンタが数多くラインアップされており、一度に2列・3列の商品に印字できるものや、一度に10¹/₂×10¹/₂四方に印字できるプリンタなどがある。これらの技術や機能を知ってもらい、企業が要望するプリンタをカスタマイズして販売していくことにも積極的に取り組んでいる。



株式会社エムエスティ
[創業] 平成11年6月
[従業員数] 50名
[資本金] 1,000万円
[事業内容]
産業用プリンタを中心とした
情報処理装置の設計・開発から
販売・メンテナンス
[本社]
城陽市平川横道76-1
TEL 0774-53-1110



明るくゆったりできる食堂・休憩室。懇親会などにも利用される

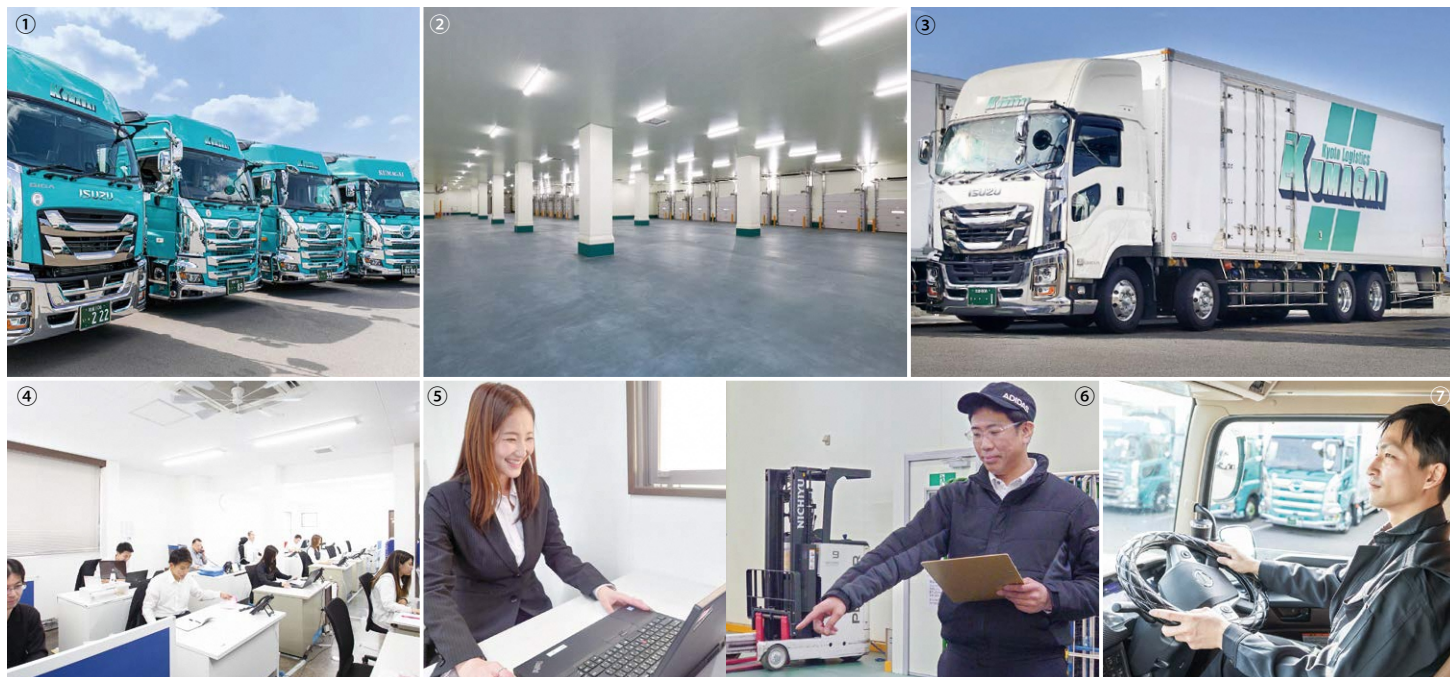
人材の積極採用。海外進出も目指す

同社では新卒採用を積極的に行っていて、開発、製造、営業職を募集している。特に、電子基板の回路設計ができる人材を熱望しているとのこと。

また60歳で定年を迎えるが、社員一人ひとりの技術と経験を高く評価していて、長く働いてもらいたいとの考えから雇用継続を行って、70歳以上のベテラン社員も活躍している。

現在、東京営業所に8名の社員が常駐して、海外での展開も積極的に行っており、今後のワールドワイドな同社の活躍に期待が集まっている。

株式会社 熊谷運輸



①③大型から軽まで幅広いトラックが揃う ②広大な規模を誇る本社物流センター ④⑤多くのスタッフが運行・健康管理を行い、ドライバーの負担を軽減している
⑥物流センターで保管する商品をオーダーに合わせてコンテナ毎にまとめる ⑦手厚いサポートで、ドライバーは運転に集中できる環境が整っている

食品や製品の保管・管理・配送を行う総合物流企業

「いつでも」「どこでも」「どんなもの」にも

365日24時間対応して、お客様の思いを運ぶ

昭和62年に軽トラック一台でスタートした「株式会社熊谷運輸」。今年で創業36年を迎え、大型4トントラックをメインに約150台の車輛を保有し、巨大倉庫で食品の冷蔵・冷凍、様々な商品や製品の保管、管理、配送を手掛ける、総合物流企業である。

三温度帯巨大倉庫で商品を保管

創業まもなく、食品メーカーの依頼で食品配送が始まり、商品を預かる冷凍庫を平成5年に城陽市内に建設。この先見の明で様々な企業から依頼が入るようになり、八幡、京田辺に冷蔵・冷凍庫センターを次々に竣工し、事業規模を拡大していった。その規模や機能を最大限に集約した「本社物流センター」を京都山城白坂テクノパークに平成30年竣工。1階が冷凍、2階は冷凍・冷蔵、3階を常温で構成する三温度帯の巨大倉庫で、様々な企業から冷凍食品、チルド食品、一般商品が運び込まれる。これを庫内で保存管理し、オーダーに合わせて店舗に配送する。現在、大手ドラッグストアの関西のチルドセンターとして、また人気ラーメンチェーン店の麺やスープの保存保管も扱っていて、本社物流センターを拠点に、ルート配送が行われている。

様々な職種で安心して勤務できる

同社では約270名の社員スタッフ

が勤務し、ドライバーが多くを占める。企業から企業などへ製品を運ぶ長距離運送、決められた店舗をまわるルート配送、軽トラックで様々な荷物を運ぶ近隣配達など、仕事内容が多岐に渡るため、社員一人ひとりの特徴や要望に合わせて仕事が選べると好評とか。

また新卒採用で普通免許しか持っていない社員には、軽トラックでの近隣配送や、大型トラック運送のアシスタントなどで経験を積み、大型免許取得のサポートも用意されている。

倉庫内の商品管理や出荷サポート、ドライバーの運行管理、健康管理、車輛管理を行う事務の仕事も多く、病气やケガで運転できない社員には、治療するまで別の業務につくことができるので、安心して仕事が行えるとか。

「熊谷運輸だから」と信頼を獲得

介護弁当の企業から新たな取引も始まり、お客様の立場で考えた様々な提案が結実している。「いつでも」「どこでも」「どんなもの」にも対応できる総合物流企業として、今後の成長と飛

躍に期待が高まっている。

「故障やトラブルで荷物の遅延を避けるためにトラックは5年毎に新車に買い換えています。車外・車内を録画するレコーダーを全車に搭載したことで運転マナーも向上し、日頃から行動規範を共有することで、お客様から良い評価を頂戴しています。運賃は他社が安いけど、熊谷運輸さんは丁寧で安心できるからお願ひしているとの嬉しいお言葉もいただいています」と営業部の熊谷係長。業務拡大でドライバー、庫内作業、事務スタッフを募集中とのこと。関心のある方はぜひお問合せを。



社員教育にも力を入れている(左)。ホームページの刷新、SNSで様々な情報を発信することで、人材獲得や新規受注に繋がったと熊谷係長(右)



株式会社熊谷運輸
[創業] 昭和62年
[従業員数] 270名
[資本金] 5,700万円
[事業内容]
食品物流配送事業、
一般貨物配送事業、
物流管理事業、倉庫保管業、
冷蔵・冷凍食品保管
[住所]
城陽市市辺茶うす山2-7
TEL 0774-52-9654



株式会社 コバヤシ 関西工場



①③工程順ライン化された工場内。整理整頓され、高熱や轟音を発しないので快適に仕事ができる ②攪拌機に原材料を投入する様子
③④製品ごとに分量が異なるので材料の計量は何度も確認が行われる ⑤製品を一斗缶などの容器に充填して完成 ⑦配線カーバーなどコバゾールが使われている製品

西日本の製造拠点として機能する関西工場 自動車、電子機器、玩具など幅広い製品に 用いられる自社開発のコバゾールを製造

工業用部品、玩具、雑貨などの原料となる「コバゾール」をはじめ、塩化ビニル、ウレタン、アクリルなど多品種の液状コンパウンドの開発・製造を行う「株式会社コバヤシ」。

主力製品のコバゾールの製造は東京の葛飾工場で行っているが、東日本大震災を切っ掛けに、新たな拠点が必要と考え、平成30年に関西工場を城陽市に竣工した。関西工場は、西日本エリアの取引先の液状コンパウンド製造拠点であり、非常時のバックアップ工場として重責を担っている。

製品ごとにカスタム銘柄を提案

コバゾールは、型に入れて加熱することで硬化するが、柔軟性に優れ、熱にも強く、手触りも良いため、ペンチなどの工具のグリップカバー、電気配線のクリップのカバーなどに使われている。また、車のエアフィルターと金具の接着剤や、ソフトビニール人形、釣りの擬似餌のワームなどに用いられ、その利用は多岐にわたる。

基本となるコバゾールはあるが、どのような製品になるか、その用途や目的に合わせて最適で最良の仕上がりにするために、顧客ごとに試作を行って最適なレシピを作り出し、発注ごとにオーダーメイドのコバゾールを製造しているそうだ。

快適な環境で仕事に集中できる

製造工程は、取引先ごとに決められた配合表通りに、正確に原料を計量する。これらの材料を攪拌機に投入して均一に混ぜ合わせることでコバゾールはできあがる。これに顔料を入れて攪拌してカラーリングを行い、一斗缶などの容器に充填すれば製品は完成する。製造の多くが自動化されているため、原料の投入以外では、力仕事はほとんどない。工場内は冷暖房が効いていて、機械が高熱を発することもないので、快適な環境で作業に勤しめる。

地元でやりがいがある仕事を

関西工場に勤務する社員は、全員が地元採用。株式会社コバヤシは全国に9つの工場があるが、それぞれ異なる製品を製造するため、関西工場で採用された方は、基本的に関西工場の勤務が続くそうだ。

コバゾールは計画的に製造されているため、急な発注や納期短縮が起きない。



株式会社コバヤシ
[創業] 昭和21年8月
[従業員数] 666名
[資本金] 8,000万円
[事業内容] 合成樹脂の原料及び材料の販売、食品・農業・工業・宣伝広告用プラスチック製品の製造販売、合成樹脂加工機械及び金型の販売及び賃貸、医療機器の製造・販売・賃貸及び研究開発
[関西工場]
城陽市市辺茶うす山2-8
TEL 0774-56-7730



工場内には昼食をとったり会議などが行えたりする休憩室も完備されている

いかに、多くの社員が定時退勤され、土日の休みもしっかり休めているとか。「仕事はすぐに覚えられますが、様々な製品の原料になるため、責任とやりがいのある仕事です」と工場長の今井さん。関西工場独自の採用が行われているので、関心のある方はぜひお問合せを。



①上空から見た宇治茶流通センター。奥の建物がすべて茶専用冷蔵庫。②③入札会場。茶匠や茶問屋の方が手ざわり、水色、香り、味をチェックして欲しい荒茶を探す
④冷蔵庫内は自動専用コンテナで入出荷が素早く行われる ⑤荒茶を痛めないように予冷库で出荷前に保存される ⑥抽出液を作るためにコンロや流し台が併設

茶専用冷蔵庫、入札会場、荒茶荷捌場など充実の設備 茶農家や茶匠を支える設備と仕組みで 世界から集まる宇治茶への要望に応える

JAや県連合会と協同して、生産者の営農とくらしを支援し、農業と地域の活性化を図り、安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給する「JA全農」32都府県に県本部があり、「JA全農京都」では、「京野菜」のブランド確立、「京都米」の地域団体商標の取得、直営飲食店舗「みのりカフェ・みのるダイニング」の運営など、様々な府内産農畜産物の販売力強化に取り組みながら、「宇治茶」の販売にも力を注いできた。

もみ茶換算2000ト収容の冷蔵庫

昭和48年に開設したJA全農京都茶市場が、令和3年1月26日に「宇治茶流通センター」として49年ぶりに新しく移転開設され、宇治茶の新たな一大拠点として活躍している。

同センターには、高さ23・5メートルの巨大な茶専用冷蔵庫が完備され、もみ茶換算で2000トの収容を誇る。マインス2℃、湿度45%と荒茶にとって最適な環境で保管でき、自動で素早く入出荷が可能で、1日300点約50トを扱うことができる広い荷捌き場も併設されている。

落札した荒茶をセンターで冷蔵保管

茶農家が栽培して収穫した茶葉は、蒸した後さまざまな工程を経て乾燥させた「荒茶」の状態でセンターに持ち込まれ、セリにかけられる。茶匠や茶

問屋は、落札した荒茶を自社の冷蔵庫で保存するのだが、その量に限界があるので、欲しい茶が買えないこともあった。しかし、新たな茶専用冷蔵庫で預かり、必要なときに入出荷できるので、その問題も解消されている。

宇治茶全体の生産量はこの10年では変わらないが、抹茶のもとである碾茶が大幅に増えており、荒茶の状態では保存する冷蔵庫不足が問題になっていた。しかし「宇治茶流通センター」のお陰で、安心して茶の栽培や抹茶づくりに専念できます」と茶農家や茶匠から喜びの声が上がっているようだ。

快適にセリが行える入札会場

センター2階の入札会場は、一度に750点の見本茶を展示できる広さを誇る。以前の展示スペースは狭く一斉に展示できなかったが、今日販売する全ての荒茶が見渡せることとなり、茶農家や茶匠にとっても好評とか。

この会場は、お茶の品質を鑑定するのに優れた施設であり、入札が行われ

ないときには、日本茶に関する講習やスクールに使われていて、なお一層、茶の普及に向けたイベントに活用していきたいとのこと。

国内のみならず世界から抹茶の需要が高まるなか、JA全農京都と宇治茶流通センターが茶農家や茶匠を支え、その期待に応えてくれている。



全国農業協同組合連合会
京都府本部
[設立] 昭和23年8月17日
[職員数] 107名
[事業内容] 農畜産物の生産・販売から地域のくらしまで、幅広い領域で全農は事業を展開
[宇治茶流通センター]
城陽市寺田塚本111-5
TEL 0774-52-0095



荒茶を分析する装置や水分計も設置



茶匠や茶問屋の入札を端末で行う。スムーズで公正なセリをサポートしている



①掘った土を土や砂や石に分別する独自のプラント ②③選別された土は仮置され、洗浄、研磨、ブレンドなどを経て製品化される ④砂の粒子や成分を調べる検査室
⑤浄水場の施工も手掛けている（和東町） ⑥⑦競馬場に常駐の社員がいて、芝の管理育成やダートコース造りに携わる。移動式プラントで競馬場の砂の再利用も行う

他社にないものをつくるために研究開発に注力

京都・城陽の大地から新たな価値を創造 競馬場、サンガスタジアムの砂や土を作る

昭和42年、城南砂利株式会社を古瀬真三氏が創業。関西電力喜撰山ダムの生コン用骨材を受注するなど、高度経済成長で発展する日本の建設業界を支えてきた。昭和44年に入社した現社長の古瀬善啓氏は、自社ならではの強みを持つためにお客様のどんな依頼にも応えようと努めていた。

寺田いもの畑から学んだ「砂と土」

そんなとき、京都競馬場からダートコースに使用する土が欲しいとの依頼が入った。古瀬社長は何度も競馬場に通い、競走馬が地面を蹴る様子を観察したそう。軟かいと足を取られ、硬いとケガの原因になる。様々な土や砂をブレンドして、最適な硬さの土づくりを研究した。さらに雨の中でもレーズが行われるため、水捌けの良い土でなければならなかった。

この難題の答えは、城陽の特産「寺田いも」の畑が教えてくれた。知人の農家をお願いして徹底的に畑を調べあげ、自然にできたその仕組みを解明した。これらの結果を提案したところ、京都競馬場の採用が決定。さらに芝コースの土を依頼されると、会社の敷地内で芝を栽培して、芝に合う土の研究を始めた。芝生が踏まれてダメージを受けて、どのように復元するかなどの環境を試験するために一休グラウンドゴルフクラブを開設。徹底した研究

も高く評価され、現在は栗東トレーニングセンター、京都競馬場、阪神競馬場、中京競馬場のコースづくりの一端を担い、阪神競馬場、三木ホースランドパークの馬場の管理も任されている。

サンガスタジアムから浄水場まで

城南工建がつくる砂・土・芝生は評判を呼び、各地の有名ゴルフ場をはじめ、サンガスタジアム、KYOCERAやパナソニックスタジアム吹田、花園ラグビー場等、さらに国際馬術競技が実施される三木ホースランドパークなどスポーツターフの基盤として納入施工されている。

また（公財）日本水道協会認証を受けた「ろ過材」は大阪府、京都市、奈良市、大津市、甲賀市、和東町など多くの浄水場施設で採用され、安全安心な飲料水をつくるのに役立っている。城南工建は納品だけでなく、現場で施工や工事も行っており、砂や土を扱うプロの仕事が同社の魅力になっている。

山を無駄なく利用して工業団地を



株式会社 城南工建
[創業] 昭和42年
[従業員数] 62名
[資本金] 2,200万円
[事業内容] 砂・砂利事業、緑化事業、水事業、建築・土木事業、維持管理事業、レジャー事業、地域貢献事業
[本社]
城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939



競馬場に常駐している社員もいるそうで、取材時は営業や事務の方に集まっていた



常に新しいことに挑戦されている古瀬善啓社長

城陽市と井手町にまたがる工業団地「京都山城白坂テクノパーク」の開発運営も城南工建が主体に行われており、エリアの拡張も計画中とか。

「自然環境に配慮して山を掘削し、土や砂や石はすべて当社で製品にします。無駄が一切出ないため、工業団地の分譲や賃貸の価格を下げることができ、企業の進出の後押しをすることで、城陽の京都の活力になれば」と古瀬社長。

京都・城陽の大地から社会に役立つ新たな価値を生み出す企業として、ますますの発展に期待が高まっている。

ほうみしょくひん
豊味食品 株式会社



①充填作業前にペットボトルのチェック作業も重要な仕事 ②ドレッシングが自動で充填されてラインで運ばれる ③機械だけでなく目視によるチェックで安全性が高まる
④原料を大きなニーダー（鍋）に投入 ⑤⑥使用が終わると全ての機械は新品同様の美しさまで洗浄して、別の製品の充填にかかる ⑦機械の修理やメンテナンスも社員が行う

一流食品会社が全幅の信頼を寄せるパートナー企業
*お客様の「欲しい」の声を実現する。
OEMで調味液等の企画製造も行うメーカー

液体調味料を様々な容器や袋へ充填することをメインに、企業の多様な要望に応えている「豊味食品株式会社」。「自社では製造や生産が難しい」「小ロットなので自社生産するには効率が悪い」など、企業のあらゆる悩みを解決するパートナー企業として信頼は厚く、大手企業はもちろん全国から相談や依頼が持ちかけられているそうだ。

難問を解決するパートナー企業に

ある企業から、ペットボトルにドレッシングの充填を依頼されるが、これが簡単な案件でなかった。タマネギ、カツオブシ、白ネギ、ゴマが入っており、軽いカツオブシは浮いて、重いタマネギが沈むため、そのまま充填すると具材のバランスが異なってドレッシングごとには味が変わってしまう。すでに市場の販売がまわっている製品なので、具材の大きさや分量の変更もできない。そこで様々な方法を考慮するなか、調合タンク内の攪拌速度を微妙に調節することで、全ての具材がまんべんなく送り出されるポイントを見つけ止めることに成功。無事に具材のバランスがとれたドレッシングの充填ができ、依頼を受けたメーカーから大変感謝されたそうだ。

難題をクリアした経験が成長に

「調味液と乾燥具材をそれぞれ小袋

マンパワーがすべての原動力に

同社の研究開発部門では、専門知識や経験が必要とするが、やる気のある社員へのチャンスは多い。未経験で入社した社員が初めて提案した製品が、先輩社員の製品を抑えてお客様から最高の評価をいただいたこともある。また工場は機械化が進むが、手作業だから実現できる商品も多く、たくさんのパート従業員の手によって製品化



豊味食品株式会社
[創業] 昭和44年10月
[従業員数] 140名
[資本金] 9,000万円
[事業内容]
調味料、食品添加物の製造販売
城陽市久世荒内183-1
TEL 0774-53-0205



※ OEM
(Original Equipment Manufacturing)
他社の商品など代行して製造すること。またはその企業ごと



製造した商品は、封入のミスや調味液など製品が漏れていないかなどを確認するために、検査員が目視と匂いでチェックする徹底ぶり。何人もの確認を経ることで、ようやく出荷できる

が実現しているので、常に新しい社員パート従業員を募集しているそうだ。OEMメーカーは縁の下を支える裏方のイメージだが、製造責任者の表示義務で、スーパーで手にとった商品のラベルやパッケージに同社の名前を見つけることも多い。豊味食品は、私たちの暮らしを支えてくれている身近な企業なのである。

株式会社 都給食

みやこきゅうしよく



①②セントラルキッチンで決められた分量の食材や調味料が用意され、社員食堂のキッチンでは焼く、炒めるなどの加熱調理だけで、美味しい昼食が提供できる
③40人社員食堂のきっかけになったHILLTOP株式会社 ④現場の調理スタッフの声をメニューづくりに反映 ⑤⑥⑦メニュー開発に力を入れ、飽きのこない料理を提供

本社工場で下処理・仕込みを行い、食堂で調理することでできたてを 社員がやる気になる美味しい昼食を低価格で 1日40食から社員食堂が開設できると好評

給食弁当会社に勤めていた現会長の西島義勝氏が、昭和48年に創業。本社キッチンで作った給食を企業に届けるスタイルが始まり、順調に取引企業は増えていったとか。ところが安価な弁当を配達する大手企業が京都に進出し、価格競争に巻き込まれてしまう。

1日40食で社員食堂を実現

平成18年、代表取締役就いた西島週三氏は打開策を考えていたとき、親交があったHILLTOP株式会社（宇治市）の社長から「社員食堂をやってほしい」と声がかかった。

1日40食では採算がとれない。そこで本社セントラルキッチンで肉や魚に下味をつけ、野菜はカットして、真空パックしたものを届け、食堂では焼く、煮る、炒めるなどの調理作業だけにすることにした。また全てのメニューをマニュアル化してトレーニングを行うことで、誰でも同じ美味しさの料理を提供することができた。

作りたての料理が味わえる社員食堂があることは、社員のやる気をアップさせるばかりか、採用活動にも効果があると、様々な中小企業との取引が増えていった。現在では近畿・愛知県で130社の社員食堂を運営している。

季節やイベントを感じるメニューを

1日4メニューをほとんどの食堂

で提供しており、本社では管理栄養士、栄養士が提供の2カ月前から、メニューづくりを始めている。現場の調理スタッフの意見を参考に、定番メニューの改善も欠かさない。さらに夏の薄着前に低カロリー料理を提供する「美BODYフェア」、スポーツの国際大会があるときに、日本と対戦する相手の料理を出すなど、季節や流行を取り入れたメニューづくりも行っている、大変好評だとか。

本社では翌日に食堂で提供される料理と同じ食材で作り、皆で食べている。食材の安全確認だけでなく、味付けや気になることがあれば、翌日の提供までに改善することもあるそうだ。

コロナ禍の苦境をチャンスに

これまでのノウハウを海外で生かそうと平成31年2月からインドネシアの日系企業で社員食堂の提供を開始。現地のポゴール農科大学と連携して、カロリーを抑えて野菜を食べるメニューを開発したり、調味料を量らない現地

スタッフに調理指導やレシピ提供を行ったり、健康的で美味しい食事がとれると大変好評で、現地の取引企業も増えているそうだ。

コロナ禍のリモートワークで社食の利用が減り、厳しい状態が続いていたため、レトルト製造機を導入。1食ずつパックにすることで食材の破棄が減ってコストを抑えられた。またレトルトを利用した新たなメニュー開発も行い、逆境を逆手に工夫を続けてきた。「健康的で美味しい食事を提供したい」と社員が一人になって取り組んでいます。社員食堂をお考えの企業様はお気軽にご相談ください」と西島社長。試食会も実施できるそうなので、関心のある方は同社まで。



本社セントラルキッチンの下処理・仕込みの様子



株式会社都給食
〔創業〕昭和48年3月
〔従業員数〕539名（パート含）
〔資本金〕4,000万円
〔事業内容〕社員食堂、職員食堂、学生食堂受託 運営、デイサービス施設ケータリング
〔本社〕
城陽市久世荒内177-6
TEL 0774-53-6001



企業立地補助金（京都産業立地戦略 21 特別対策事業費補助金）

事業所設置促進補助金

（設備投資に対する補助金）

投下固定資産額等 × 10%
（土地取得費除く）

就業環境整備促進補助金

（働きやすい職場の環境整備に関する設備に対する補助金）

投下固定資産額等備品 × 50%
（※事業所設置促進補助金との併給は不可。）

府内常用雇用促進補助金

（新規府内常用雇用に対する補助金）

新規府内常用雇用者数 × 単価
（単価について 障害者50万円、正規雇用者：40万円 その他：10万円）

〈交付限度額〉

①事業所設置促進補助金			②府内常用雇用促進補助金	③府就業環境整備促進補助金
府内常用雇用者数 ※1	認定有無 ※2	限度額 ※4～5		
5～19人の場合	無	0.5億円	8億円	300万円
	有	1億円		
20～49人の場合	無	0.75億円		
	有	1.5億円		
50人～※3の場合	無	1.5億円		
	有	3億円		

※1. 府内常用雇用者数について、期間を定めて雇用されている者については、雇用期間が1年を超えた日以降において人数にカウントします。※2. くるみん認定・もにす認定・えるばし認定・京都モデルワークライフバランス認定・京都はあふるる認定のいずれかを取得。※3. 50人以上の区分を適用する場合における府内常用雇用者数については、府内他施設からの異動者は含まれません。※4. 限度額については、操業時（工事を複数の工期に分けて実施し、段階的に操業を開始する場合は、各工期に係る操業時）における人数で算定します。※5. 大規模投資や、円高時の輸出関連企業については、別途、特別限度額が適用されます。（事業所設置促進補助金のみ）※6. 府内に住所を有し、かつ雇用保険の被保険者である直接雇用者を言います。※7. 府内他施設からの異動者を除いた数となります。

〈補助対象業種及び投資規模要件〉

補助対象業種	補助対象要件		
	用地等面積	投下固定資産額等	府内常用雇用者数※6
製造業等※製造業類似産業（植物工場等）も含む	工場	3,000㎡	3億円
	増設	3,000㎡増	3億円増
	本社	1,000㎡または1億円	5人増※7
	本社増設	建物延べ床1,000㎡増または1億円	5人増※7
自然科学研究所	新設	1,000㎡または1億円	5人
	増設	建物延べ床1,000㎡増	1億円
情報関連産業（コールセンター除く）	新設	1,000㎡または5,000万円	5人
	増設	建物延べ床1,000㎡増	5,000万円

低利融資制度

（取扱金融機関）京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、京都都都信用金庫、商工組合中央金庫

- 対象** 「京都産業立地戦略 21 特別対策事業費補助金」の対象となる工場等の新設、増設
- 融資利率※** **特別金利 年1.2%**（金融情勢により変更する場合あり）
府内常用雇用者総数が増加しない場合は 1.7%
（当初 10 年間固定、11 年目以降は取扱金融機関が定める所定金利）
- 資金使途** ・工場等の新設、増設に必要な設備資金（土地、建物、機械、設備等の取得資金）
・操業に必要な運転資金
- 融資限度額** 所要資金の 90%以内で 20 億円以内（うち運転資金 1 億円以内）
- 融資期間** ・設備資金 20 年以内（据置期間 3 年以内）
・運転資金 7 年以内（据置期間 1 年以内）

※特別金利は補助金要件のほか、府内事業所の府内常用雇用者総数が増加する場合の設備融資に適用されます。○ご利用にあたっては取扱金融機関の審査があり、希望に添えない場合があります。

不動産取得税の軽減 ものづくり産業等集積促進税制

不動産取得税を最大 1/2 軽減します。

- 対象地域** ものづくり産業等集積促進地域※1
- 対象業種** 製造業・ソフトウェア業・情報処理サービス業
- 軽減内容** **不動産取得税を最大 1/2 軽減**（不均一課税）※2
令和 9 年 3 月 31 日までに土地又は家屋を取得したものの

対象施設	要 件	
	設備取得額（土地を除く）	府内常用雇用者数
工場	2,700 万円超	5 人以上
研究所・開発拠点	5,000 万円超	（対象企業の府内事業所の府内常用雇用者総数が増加すること）

※1. ものづくり産業の集積の促進を図る必要があると認められる地域で、市町村長の申出に基づき、知事が指定した地域をいいます。※2. 土地及び建物を取得した者が、直接自らのものづくりの用に供する場合に対象となり、営業部門や本社部門は軽減対象外です。○過去に追徴課税等を受けている企業は利用できない場合がありますので、必ずお問い合わせください。

城陽市企業立地促進条例

措 置	内 容	対象地域及び対象者	対象要件
事業場等設置助成金	○投下固定資産額（土地取得を除く）の100分の10以内の額 ○限度額：3,000 万円 （※情報関連産業、自然科学研究所及び製造業に係る事業場等以外は 1,000 万円）	市内の都市計画法上の準工業地域、工業地域又は工業専用地域及び市長が指定する地域内に事業場等に移転、新・増設する企業	○情報関連産業、自然科学研究所の本店及び事業場、製造業に係る本店 →敷地面積 500㎡以上取得もしくは賃借、又は投下固定資産額等 5,000 万円以上かつ地元新規雇用者数 1 人以上
操業支援助成金	○固定資産税相当額（土地分除く）に次の率を乗じて得た額： （第1年度）100分の75 （第2年度）100分の50 （第3年度）100分の25 ○3 年間の交付額の上限：5,000 万円	※令和 9 年 3 月 31 日までに指定申請して助成対象企業の指定を受けた企業の内、指定を受けた日の属する年度から 4 年度以内に事業場等の操業を開始する企業	○製造業に係る事業場及びその他の産業で、市長が特に認める産業の本店及び事業場 →敷地面積 500㎡以上取得もしくは賃借、かつ投下固定資産額等 1 億円以上又は地元新規雇用者数 1 人以上
雇用創出助成金	○操業開始日の属する年度の翌年度以降 4 年間に 1 年以上継続して新たに雇用した城陽市在住従業員数に期間に定めのない雇用の場合は 40 万円、障がい者の雇用の場合は 50 万円、その他の場合は 10 万円を乗じて得た額 ○4 年間の交付合計額の上限：3,000 万円		

中小企業等経営強化法に基づく「先端設備等導入計画」の認定申請について

本市に所在している中小企業が、労働生産性を一定程度向上させるため、本市の「導入促進基本計画」に基づき「先端設備等導入計画」を策定し、市に申請を行い、認定を受けることで、税制支援や金融支援などの支援措置を活用することができます。なお、先端設備等については、「先端設備等導入計画」の認定後に取得することが必須となっていますので、ご注意ください。

認定のメリット（令和 5 年 3 月現在）

- 生産性を高めるための設備を取得した場合、固定資産税の軽減措置により税制面から支援（地方税法に基づき課税標準を 3 年間 1/2 または 1/3 に軽減）
- 計画に基づく事業に必要な資金繰りを支援（信用保証）
- 認定事業者に対する一部の補助金における優先採択（審査時の加算）

先端設備等導入計画の主な要件

※本認定は適用期間や要件等がありますので申請にあたっては事前にお問い合わせください。

主な要件	計画期間	労働生産性	先端設備等の種類	計画内容
内 容	計画認定から 3～5 年間	計画期間において、基準年度（※1）比で労働生産性が年平均 3%以上向上すること。 算定式（営業利益＋人件費＋減価償却費）／労働投入量（※2） ※1 直近の事業年度末 ※2 労働者又は労働者一人あたり年間就業時間	・労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される下記設備 【減価償却資産の種類】機械装置、測定工具及び検査工具、器具備品、建物附属設備	・導入促進指針及び導入促進基本計画に適合すること。 ・先端設備等の導入が円滑かつ確実に実施されると見込めるものであること。 ・認定経営革新等支援機関（商工会議所等）において、事前確認を行った計画であること。

現在、城陽市では新名神高速道路「大津～城陽間」の開通に向けた工事が着々と進められていくほか、その開通に合わせた複数の事業が同時に進められている状況であり、本市は日々、新しい景色に変化しているところです。

また、基盤整備だけではなく、私たちを取り巻く環境や人々の価値観等も大きく変化している中で、今までのまちづくりから持続可能なまちづくりへの転換期を迎えております。

本市は昨年、市制施行 50 周年を迎えました。今日の城陽を築かれた先人の努力に感謝を申し上げ「歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽」の創造にまい進してまいります。

さらに令和 5 年度には、新たな産業の方向性を示す「明日の京都城陽産業かがやきビジョン」を策定し、地域産業基盤の強化、地域産業の発展のために取り組んでまいります。

この「ジョーカン」第 7 号では、大きな転換期を迎える城陽で、ご活躍いただいている企業の皆様をご紹介しております。掲載企業の代表者様のご協力に感謝するとともに、城陽を盛り上げるため、今後とも本市の産業振興施策へのご協力をよろしくお願いいたします。



城陽市長 奥田敏晴